

# 農事組合法人 水沼ファーム



## 経営のプロフィール

農業地帯 平地農業地域  
組織形態 オペレーター型  
エリア 複数集落  
農地集積率 50%

### 経営概要

- ・水稲 (30ha)
- ・麦類 (25ha)
- ・大豆 (25ha, 内11haは種子)
- ・枝豆 (6ha)
- ・キャベツ (1.2ha)

### 主な施設・機械の保有

- ・トラクター 5台 (95ps, 65ps2台, 60ps, 46ps)
- ・田植機 1台 (8条植え)
- ・コンバイン 2台 (5, 3条刈り)
- ・乾燥機 5台 (50石3台, 40石2台)
- ・糶摺機 2台
- ・動力噴霧機 (走行式) 1台

構成員等  
構成員3名, 常時雇用1名, パート10名

法人設立年月日  
平成19年6月27日

認定農業者認定年月日  
平成24年7月25日

出資金  
600万円

販売額  
4,000万円 (平成25年度)

役員名  
代表理事: 中澤 清志  
理事: 岡田 正男, 中澤 なつよ

過去の表彰  
平成22年 大豆優良種子表彰

## 1 現在の経営内容等

### (1) 経営理念, キャッチフレーズ等

- 地域農業の受皿組織として経営を展開。
- よい管理をしてよいものをつくる。

### (2) 栽培技術の特長

- 作付体系は水稲, 麦類, 大豆の2年3作体系のローテーションを実施し, ほ場の有効活用を図っている。
- 水稲は環境保全米に取り組み, 安定した収量を確保している。
- 麦類や大豆については弾丸暗渠や明渠施工はじめ, 基本に忠実な栽培管理を励行することにより, 常に管内トップクラスの収量品質を実現している。
- 小麦あとの大豆栽培については狭畦密植栽培により単収200kgを確保している。

### (3) 販売の特長

- 全量系統出荷している。

### (4) 経営組織の特長

- 農事組合法人であるが確定給与制をとるなど, 会社法人に近い組織運営となっている。
- 当初は水稲, 麦類, 大豆のみの経営だったが, 地域雇用の受皿組織としての役割を担うため, 新たな複合部門として枝豆とキャベツを取り入れ, 周年雇用を実現している。

### (5) 労務管理の特長

- 社会保険は完備。常時雇用者については労災保険のほか雇用保険にも加入し, 雇用環境の整備に努めている。

### (6) 経営管理の特長

- 帳簿の記帳入力は構成員が実施。
- 顧問の税理士事務所により月次管理が実施されており, 月ごとの経営内容や動きについて把握している。

### (7) その他の特長

- 「良い管理をし, 良いもの作る」ことを常に心がけている。このため, 地域からの評判も良く, 当該法人にまかせておけば安心との信頼関係が構築され, 集積面積が増加してきている。

## 2 これまでの経過

### (1) 法人化するまでの特徴的な歩み

- ほ場整備事業を契機に転作受託組織が設立され, 麦類や大豆の作付を行う。その後, 受託組織が再編され2つの受託組織が新たに設立された。

### (2) 法人化の動機や法人設立時の特徴的経過, 法人化後の変化

- 地域農業の受皿組織として, 転作のみでは今後の経営の発展が見込めないと考えていた時に, 品目横断的経営安定対策が実施されることになったため, こ

れをきっかけに法人化を目指すことにした。

- 法人設立にあたっては関係機関からの支援を受け準備を進めたほか, 専門家派遣事業も活用し, 税理士などの専門家からも指導を受けた。
- 法人化後の変化としては, 経営状況が的確に捉えられるようになった。

## 3 今後に向けて

### (1) 解決すべき課題と現在検討中(取組中)の対処方策

- 後継者の確保。

### (2) 今後に向けての経営戦略

- 水稲受託面積が今後も増加してきた際には直播栽培により対応。
- 水稲育苗ハウスを活用した軟弱野菜栽培の導入。
- 規格外品の有効活用。
- 乾燥調整施設の新設。

(調査: 石巻農業改良普及センター)

## 略図



### 農事組合法人 水沼ファーム

石巻市水沼字日向畑136  
TEL 0225-91-2046  
FAX 0225-91-2076

### 視察受入条件

事前に申込みあれば調整可